



板二小ホームページ QR



板二だより

学校情報化優良校・ユネスコスクール認定校
板橋iカリキュラム活用実践校(読み解く力)
小学校教科担任制等推進モデル校

令和7年度6月号
令和7年5月30日

板橋区立板橋第二小学校
校長 小澤 裕行

紫陽花のような学級・学校に

副校長 齊藤 孝之

早いもので、1学期が始まってからの登校日が40日を超えました。板二小の子どもたちは、落ち着いて学習に取り組んでいます。どの教室でも一生懸命先生や友達の話聞き、集中して学習に向かう姿が見られます。素晴らしいことです。板二小が最も誇れる場面だと、私は思います。

さて、板二小は花と緑がいっぱいあるすばらしい学校です。ある日、私は、その板二小の敷地のあちらこちらに、私の一番好きな花がたくさん植えられているのに気が付き、うれしくなりました。私の好きな花は、「紫陽花（あじさい）」です。では、なぜ私は紫陽花が好きなのか？理由は2つあります。

1つ目の理由は、「季節の移ろい（うつろい）が感じられる花」だからです。桜の花は春に咲きます。向日葵は夏に咲きます。では、紫陽花の花は？春と夏のちょうど間。梅雨の鬱陶しい季節ではありますが、雨に濡れる紫陽花を見ると、私は清々しい気持ちになります。きっと「梅雨を過ぎれば楽しい夏がやってくる」と思えるからでしょう。紫陽花は私にとって、「季節の移ろいを感じられる」花だから好きなのだと思います。子どもたちにも、自然がいっぱいの本校で、校庭に咲いている花や、やってくる生き物を見て、季節の移ろいを感じられる人に育ってほしいと思います。

2つ目の理由は、紫陽花は、役割の違う2種類の小さな花の集まりだからです。「ガク」と呼ばれる花びらのようなものと「真花（しんか）」とに分けられ、それぞれの小さな花が集まって1つの大きな花に見えます。このことは、子どもたちが毎日学校で生活する学級集団にも例えることができます。勉強の得意な子、運動の得意な子、人を笑わせるのが得意な子、それぞれ特技が違う子が集まって、1つの楽しいクラスが作られています。大切なことは、子どもたちがそれぞれの特性を理解し、互いに認め合える風土が学級や学校にあるかどうかですが、板二小の子どもたちが授業中に友達と協働して学ぶ姿や休み時間に元気に遊ぶ姿を見ると、まさに「紫陽花のような学級・学校」だな、と思います。

私はこれからも、「季節の移ろいが分かる感性豊かな子ども、互いに助け合い・認め合い・励まし合える子どもを育てる板二小」を、学校・保護者・地域の皆様と一緒に創っていきたいと考えます。これから夏に向かって蒸し暑くなり、子どもの体調管理が難しい季節になりますが、子どもたちが元気に学校に登校できるよう、皆様の御理解・御協力をお願いいたします。

（この「紫陽花」のお話は、5月12日（月）全校朝会で児童にもお話しました。）

